

## 育児休業に関する体験記6

20代 92日間取得

<p>① 家事 ・ 育児 について</p>	<p>1. 育児休業前に、夫婦で家事・育児の分担をどのように話し合い、行ったか 話し合って決めた訳ではないですが、家事が得意な私が家事全般を行っていました。授乳は妻が、その他ミルクや沐浴、寝かしつけ、あやすなどは協力して行いました。</p> <p>2. 育児休業後の家事・育児の参画の状況について 家事については育児休業中の妻が夕食づくりや洗濯を行っています。休日は主に私が行っています。育児についても私がいないうちは妻が行ってくれています。私がお家にいる間は、一緒に遊んだり沐浴したりしています。</p> <p>(妻 記載欄) 休業取得者の家事・育児の参画の状況について 元々私以上に家事を行ってくれていましたし、育児にも積極的です。夫が育休を取得してくれたおかげで、2人で一緒に環境の変化に対応することができ、心にゆとりをもって我が子に向き合うことができました。そして、我が子の尊さを十二分に共有できたことがなにより幸せです。</p>
<p>② 仕事 について</p>	<p>1. 休業取得前、仕事の引継ぎはどのように行ったか 後輩に私が行っていた作業を、育休取得3週間前から引き継いでいきました。</p> <p>2. 評価・反省 事前に相談していたため特に大きなトラブルはありませんでした。</p>
<p>③ 自由 記述 (400 字程 度)</p>	<p>(取得者 記載欄) (例：育児休業取得の経緯、育休を終えての所感、周囲の反応) 子どもが生まれてから3ヶ月間育休を取得しました。今回育休を取得した理由は、初めての育児に早く慣れたいという気持ちがあったからです。育休を取っていなければ、わからないことは妻に任せてしまっていたかもしれません。妻と同じスタートラインに立ち、授乳以外は何でもできるようになりました。</p> <p>そして、親として我が子に目一杯関わりたいと思っていました。期間中は全く気にせず、時間にも心にもゆとりをもって我が子に関わることができました。泣いたりミルクを飲んだり手足をバタバタしたり、懸命に生きる愛おしい姿を間近で見ることができました。そして成長は目まぐるしく、生後3ヶ月ごろには私に笑いかけられるようにもなりました。育休最終日は、我が子と離れる寂しさで自然と涙が出ていたほど、育休期間で何にも変え難い、尊い時間を過ごすことができたと思っています。</p> <p>一昔前とは異なり、男性の育休が推進されるようになりました。ただ周囲に私が育休を取ることを伝えると、「えらいね」と驚かれることが多いです。今後、男性育休がより当たり前とされる世の中になることを願っています。</p>

